

SDGsの取り組み方針



おかたづけサポート ufufuspace はSDGsの達成のため、
以下について取り組むこと目指します。

<当事業の取組み>
当事業では、個人・法人の皆様に対して、家屋・事務所の一部または全体における整理収納の支援、各種ご相談へのアドバイスなど、“おかたづけ”全般に関する支援サービスの提供をしております。支援サービスの提供を通じて、整理収納の本質的な考え方を伝えることで、「物を買ったり、捨てたり」といった日常生活を見直すきっかけを提供し、環境に配慮した行動や地球資源を大切にすといったSDGsの考えを少しでも広めていきます。また、地域事業者として、整理収納や防災に関するスキル・ノウハウを活用し、今後は地域住民へ情報を発信・共有していき、安心・安全な地域づくりに協力していきたいと考えています。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	【目標】 事業活動における紙資料の必要性を十分に検討し、徹底した紙の削減を図る	
	【主な取組み】 ・顧客に対する整理収納の提案や参考事例など情報提供について、紙資料の共有ではなく、メール等で共有するなど、電子で提供。 ・顧客情報や個別の相談内容に関する資料は、電子作成・電子保管。	
2	【目標】 整理収納による不要な買い物の削減、環境にやさしい買い物の促進を図る	
	【主な取組み】 ・整理収納サービスによる顧客所有物の明確化と適正な保管・管理の実施。 ・適正な保管・管理状態を維持するため、顧客の購買パターンや生活リズムに沿った、整理収納に関するアドバイスや知識・考えを共有し、衝動買いを予防。	
3	【目標】 不用品かどうかの検討機会の提供による廃棄物の削減と、適切な廃棄方法の提案	
	【主な取組み】 ・整理収納を実施し、今後も活用できるかどうかを検討する機会を提供。 ・「不用品」は、リユース方法(寄付団体の紹介)やリサイクル方法を提案。 ・「不用品」で完全に廃棄する場合も、適切な分別・廃棄ができるよう、顧客が所在する自治体等へ確認のうえ、顧客へ廃棄方法を伝える。	
4	【目標】 整理収納の視点から考える防災対策について、地域住民等へ伝える	
	【主な取組み】 ・緊急時に活用できる防災備蓄の整理収納術に関する情報を発信・周知する。 ・セミナー資料や情報発信資料などを作成し、市内での各種情報発信を行う。	

2023年11月1日

事業者名 おかたづけサポート ufufuspace

代表者名 畑中 奈緒